

科目名	模擬裁判 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Moot Court I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	あきやまえいいち・おかざきしょうへい	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中
担当者名	秋山 栄一・岡崎 頌平	修得単位	2単位
授業のテーマ	模擬裁判の実践を通じて、学んだ法的知識を立体化することができるようになる。		
到達目標	受講者は、模擬裁判を企画・準備・実施し、刑法、刑事訴訟法を中心とする法律科目を、より具体的に、正確に理解できるようになる。		
授業概要	<p>本講義は、1年生から3年生まで一緒に活動する合同ゼミナール形式(通年)で、教員も2人で担当します。刑法・刑事訴訟法を中心とする法律科目を総合的に踏まえた(憲法・民法を含む)、実践的な模擬裁判を実体験することで、生きた法を、より具体的に、そして正確に理解することができます。</p> <p>授業計画は一応のもので、必要に応じて打合せ、練習等を実施します。特に、模擬裁判本番直前の1か月は、平日は、ほぼ毎日練習にあてられることとなります。全32回という回数も一応の目安で、実際はもっと多くなることが予想されます(正規の授業以外の活動であっても、欠席が多い場合は単位認定しないことがあるので、注意すること)。</p>		
授業計画			
第1回	イントロダクション	第17回	本番練習
第2回	担当別の打合せ・裁判手続に関する学習①	第18回	本番練習
第3回	裁判手続に関する学習②	第19回	本番練習
第4回	裁判手続に関する学習③・キャスト等の仮決定	第20回	本番前日通し練習
第5回	学園祭での活動準備・パンフレット等の作成開始	第21回	本番・反省会
第6回	学園祭での活動	第22回	セット搬出
第7回	パンフレット等の完成	第23回	後片付け
第8回	パンフレット等の校正	第24回	総括・アンケート集計等
第9回	練習開始・広報活動開始	第25回	アンケート集計等
第10回	本番練習・広報活動	第26回	来年度への引継ぎ作業等
第11回	本番練習	第27回	来年度への引継ぎ作業等
第12回	本番練習	第28回	来年度担当者の仮決定
第13回	本番練習	第29回	来年度への準備開始
第14回	本番練習(セット搬入)	第30回	来年度への準備
第15回	本番練習(舞台練習)	第31回	来年度への準備
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験
授業時間外の学習	本学で開催する本番に向けて、学生主体で計画的に順次準備を進める。(240分)		
履修条件 受講のルール	演劇の未経験者も大歓迎です。 また、裁判員裁判の手続きの流れを知っていることが望ましい。		
テキスト	適宜資料配布		
参考文献・資料	小林充ほか編『刑事事実認定重要判決50選[第2版](上)』『刑事事実認定重要判決50選[第2版](下)』立花書房(いずれも2013年);松尾浩也監修『条解刑事訴訟法[第4版増補版]』弘文堂(2016年);前田雅英編集代表『条解刑法[第3版]』弘文堂(2013年);末永秀夫ほか『犯罪事実記載の実務 刑法犯[7訂版]』実務法規(2018年)		
成績評価の方法	模擬裁判への貢献度(60%)、定期試験(40%)		
オフィスアワー	秋山:火曜日9:00~10:30;水曜日14:40~16:10		

	岡崎：月曜日 14：40～16：10；水曜日 14：40～16：10
成績評価の基準	<p>平成 28 年度（2016 年）以降入学した学生 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)</p> <p>平成 27 年度(2015 年)以前に入学した学生 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</p>
学生へのメッセージ	多くの学生が参加してくれることを期待しています。